

■佐藤栄作 官僚政治家。吉田茂に見込まれて政界入り、＜高度成長＞期に長期安定政権、沖縄復帰でノーベル平和賞。

さとうえいさく

田中正造直訴1901＝ 山口県熊毛郡田布施の酒造家に生れる。岸信介の実弟。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

韓国併合・・1910＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝11歳：

ㄱ 甲午条約・1919＝18歳：

第五高等学校より、東京帝国大学法学部に進み、

原敬首相暗殺1921＝20歳：

護憲三派圧勝1924＝23歳：卒業。鉄道省に入り、門司鉄道局勤務する一方、松岡洋右の姪と結婚。

共産党事件・1928＝27歳：

満州事変・・1931＝30歳：

帝人疑獄事件1934＝33歳：在外研究員として欧米に出張し、

二二六事件・1936＝35歳：帰国。

日中戦争始・1937＝36歳：

日米開戦・・1941＝40歳：鉄道省監督局長、

年金+総武装 1944＝43歳：大阪鉄道局長、

敗戦・・・1945＝44歳：敗戦後、

新憲法公布・1946＝45歳：運輸省本省に戻って鉄道総局長官となり、

新憲法施行・1947＝46歳：運輸事務次官、

極東裁判決・1948＝47歳：*吉田茂首相に見込まれて退官し、民自党に入って官房長官になる。

三大事件・・1949＝48歳：*総選挙で当選、池田勇人、前尾繁三郎らとともに官僚出身保守党政治家の道を歩む。

独立回復・・1951＝50歳：

幹事長、郵政相、建設相などを歴任。

自衛隊発足・1954＝53歳：造船疑獄では、逮捕直前に犬養健法相の指揮権発動で救われた。

55年体制始・1955＝54歳：

なべ底不況・1957＝56歳：自民党に加わってからは、

インスラトン・1958＝57歳：蔵相、

安保闘争・・1960＝59歳：

タイタイ病始・1961＝60歳：通産相をつとめ、

東京リボルブ 1964＝63歳：*派閥の長として総裁選に立候補して敗れたのち、池田勇人の引退を受け、吉田派閥の直系として首相に指名される。

経済成長、多党化状況に支えられただけでなく、政治家としての均衡感覚も優れ、派閥均衡人事のほか、政策面で日韓基本条約、大学立法、安保条約の自動延長等の強硬策を展開する反面、非核三原則、沖縄の"核ぬき、本土なみ"返還の実現などを組み込み、"寛容と忍耐の政治"を掲げ、

日中国交回復1972＝71歳：*7年8カ月の長期内閣となって、引退。

石油ショック1973＝72歳：沖縄の本土復帰を実現させ、

角栄金脈辞任1974＝73歳：ノーベル平和賞を受賞したが、

アランール事件1975＝74歳：没した。